

平成26年度地域密着型金融の取組状況について(要約)

平成26年4月～平成27年3月

空知商工信用組合

I. 地域密着型金融の取組状況について(要約)

(平成26年4月～平成27年3月)

当組合の地域密着型金融の取組みは、1.「顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮」、2.「地域の面的再生への積極的な参画」、3.「地域や利用者に対する利便性の向上や積極的な情報発信」であり、平成26年4月から平成27年3月までの取組状況は次の通りとなっております。

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(1) 創業・新規事業支援

- ・ 各種セミナーの参加を通じ創業・新規事業支援のノウハウ等の習得に努めました。
- ・ 創業支援として、創業補助金の利用申請を行った結果1件採択されました。
- ・ 今後についても、各種セミナー等に積極的に参加し、ノウハウの習得、コンサルティング機能の強化を図ってまいります。

(2) 経営改善支援

- ・ 経営力強化保証については、取扱目標20先に対し、17先218,300千円となりました。
- ・ 経営改善指導によるランクアップ対象先20先を選定しましたが、目標5先に対しランクアップは1先となりました。
- ・ 当組合と税理士法人が連携のうえ経営改善計画書を策定し、経営改善センター事業の利用申請(1件)を行い、採択されました。
- ・ 本部での継続的な営業店への再生支援体制を通じ、職員のスキルアップを図りました。
- ・ 今後は、臨店指導の強化によって職員のスキルアップを図り経営改善指導を行ってまいります。

(3) 事業再生支援

- ・ 各種支援事業及び融資制度の活用を図るため、「認定支援機関活動促進セミナー」等に参加しました。
- ・ 外部講師を招き、「地域プラットフォーム活用研修」を行い、職員のスキル向上を図りました。
- ・ 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業を活用し、経営改善に取組みました。
- ・ 今後も地域金融機関として更なるコンサルティング機能の充実、より一層の中小企業支援ネットワーク強化事業の活用を図って参ります。

(4) 事業承継支援

- ・ セミナーの参加、広報冊子、上部団体からの情報収集を通じ事業承継のノウハウ習得に努めました。
- ・ 今後も各種セミナーの参加及び上部団体からの情報収集を行いノウハウ習得に努めてまいります。

(5) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み

- ・ 平成26年度の流動資産担保融資、コベナンツファイナンス、「中小企業の会計指針」、信用格付システムを活用した取扱はありませんでした。
- ・ 今後も不動産担保、保証に過度に依存しない融資を推進してまいります。

(6)「目利き機能」の発揮に向けた取組み

- ・ 銀行業務検定試験、外部研修、組合内研修、信用格付システムを通じ、事業価値評価のレベル向上に努めました。
- ・ 今後も通信教育・研修・検定試験等により中小企業に適した資金供給を行うための目利き能力の向上に努めます。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

(1)成長分野の育成や産業集積による高付加価値化などの地域の面的再生に向けた取組みへの積極的な参画

- ・ 地域行事等に積極的に参加・協力し、地域の活性化に努めました。
- ・ 地域活性化を図る為、地域行事等へは今後も積極的に参加してまいります。

3. 地域や利用者に対する利便性の向上や積極的な情報発信

(1)顧客・組合員の意見・ニーズを経営改善につなげる態勢の強化(地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立)

- ・ 平成25年度のアンケートに基づき、「ATMの機能追加」、「接遇の改善」、「情報提供の充実」、「サービスの充実」、「店舗内外の美化」について改善を図りました。
- ・ 今後も業務改善を行い、接遇の改善や環境の整備に努めます。

(2)地域貢献等に関する情報開示

- ・ ホームページやディスクロ誌において顧客の目線に立った情報開示に努め、開示についても内容の充実を図りました。
- ・ 今度も更なる分かりやすい情報の開示に努めます。

II. 報告資料

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1. 地域密着型金融個別の取組結果(要約) | 別紙のとおり。 |
| 2. 経営改善支援等に関する取組実績 | 別紙のとおり。 |
| 3. 経営改善支援実績表 | 別紙のとおり。 |

Ⅱ-1. 地域密着型金融個別の取組結果（要約）

項 目	取 組 方 針	平成26年4月～平成27年3月	
		取組策(取組内容)	取 組 結 果
1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮			
(1) 創業・新規事業支援	<ul style="list-style-type: none"> 産学官関連のセミナー及びサポート会議等の参加によるノウハウの習得 大学等と連携した顧客企業の技術相談等への対応強化 中小企業支援センター等の情報を活用し、新規開業等の相談機能等に活用する 信用保証協会の「創業関連保証制度」(再挑戦支援保証を含む)及び公的制度を活用し、創業・新規事業への支援を図る しんくみネットを活用したビジネスマッチングによる支援 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業を活用したコンサルティング機能の発揮 地公体と連携し、商品化支援や補助金制度の紹介 建設企業のための経営戦略アドバイザー事業を活用したコンサルティング機能の発揮 	<ul style="list-style-type: none"> 産学官関連のセミナー及びサポート会議への参加 中小企業向け経営懇談会等の情報収集と情報提供 各種制度の活用による創業・新規事業への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 「北大リサーチ&ビジネスパークセミナー」等の各種セミナーに参加し、各種支援制度等の情報収集を行いました。 創業支援としては、創業補助金の利用申請を行った結果1件採択されました。
(2) 経営改善支援	<ul style="list-style-type: none"> 企業再生支援相談課を中心にランクアップ対象企業(財務上問題、事業の将来性の見通し、再生の実現性が高い企業)を選定し、本部・営業店が一体となって相談・経営管理、経営指導を行う 保証協会の経営力強化保証制度を活用し、経営改善を図る 経営改善計画の策定を支援し、モニタリングおよび経営改善指導等のフォローアップを行う 条件変更の申出に対する真摯な対応を行う 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業を活用したコンサルティング機能の発揮 建設企業のための経営戦略アドバイザー事業を活用したコンサルティング機能の発揮 北海道信用保証協会が主催する中小企業支援ネットワークの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 経営相談・経営管理・経営指導及びランクアップ(対象先20先選定、ランクアップ先5先) 経営力強化保証等による事業再生(取扱目標20先) 	<ul style="list-style-type: none"> 経営力強化保証については、取扱目標20先に対して、取扱実績17先218,300千円となり、概ね達成しました。 経営改善指導によるランクアップを目論見、対象先20先を選定し相談・経営管理・経営指導を継続しましたが、目標5先に対しランクアップ1先となりました。 当組合と税理士法人が連携のうえ経営改善計画書を策定し、経営改善センター事業の利用申請(1件)を行い、採択されました。

項 目	取 組 方 針	平成26年4月～平成27年3月	
		取組策(取組内容)	取 組 結 果
1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮			
(3) 事業再生支援	<ul style="list-style-type: none"> 各種関連セミナーの参加及び研修会の実施等を通じ、各種再生手法の習得及び相談機能のレベルアップを図ると共に、中小企業再生支援協議会の事業再生手法の活用を図る。 中小企業等金融円滑化に基づく、当組金融円滑化基本方針による相談、申込に対する真摯な取組で事業再生支援。 取引先に対する事業再生の為の再生計画策定の支援。 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業を活用したコンサルティング機能の発揮。 条件変更の申出に対する真摯な対応を行う。 事業の持続可能性を見極め、適切な指導を行う。 建設企業のための経営戦略アドバイザー事業を活用したコンサルティング機能の発揮 北海道信用保証協会が主催する中小企業支援ネットワークの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業再生支援協議会等活用による事業再生先の選定。 上部団体における各種セミナーの参加。 組合内研修の実施。 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業の対象先選定(対象先18先) 	<ul style="list-style-type: none"> 各種支援事業及び融資制度の活用を図るため、「認定支援機関活動促進セミナー」等に参加しました。 平成26年9月に外部講師を招き、「地域PF活用研修」を実施しました。 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業(事業名変更)を活用し、経営改善に取組みました。(対象先16先、19回訪問)
(4) 事業承継支援	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体が主催する事業承継に関連するセミナー等へ出席し、事業承継のノウハウの習得に努める。 各種勉強会を通じて職員の知識向上を図り、事業承継支援を行う。 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業を活用したコンサルティング機能の発揮。 建設企業のための経営戦略アドバイザー事業を活用したコンサルティング機能の発揮 	<ul style="list-style-type: none"> 各種セミナー等への参加 勉強会等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年 3月 「地域密着型金融シンポジウム」参加
(5) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み	<ul style="list-style-type: none"> ABL、コベナンツファイナンスの研究(当組合の顧客の身の丈にあった手法はあるか)と資金供給。 「中小企業の会計指針」適用先への資金供給の研究と実施。 当組合信用格付システムに基づく資金供給の実施。 経営者以外の第三者による個人連帯保証等の慣行の見直し。 不動産担保、個人保証に過度に依存しない融資の推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ABL、コベナンツファイナンス、「中小企業の会計指針」、信用格付システムの活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ABL、コベナンツファイナンス、「中小企業の会計指針」、信用格付システムを活用した融資取扱はありませんでした。

項 目	取 組 方 針	平成26年4月～平成27年3月	
		取組策(取組内容)	取 組 結 果
1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮			
(6)「目利き機能」の発揮に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> 検定試験及び参考資料等による知識習得の他、組合内研修や外部研修の実施による財務分析能力やコンサルティング能力の習得により、目利き能力を向上させ、スキルアップを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 参考資料等の活用により知識習得を図る。 業界団体が主催する研修の受講を進める。 銀行業務検定試験の取得を進める(年3回実施)。 組合内研修等により、職員のスキルアップを図る。 信用格付システムの活用・推進を通じて、事業価値評価のスキルアップを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度北海道信用組合協会主催の研修へ参加(8講座24名)、北海道中小企業総合支援センター主催実践型支援能力向上研修に1名参加、組合内研修の実施(8講座159名)、銀行業務検定試験の受験(年3回、受験者数134名のうち合格者数82名)によるスキルアップ向上に努めました。
2. 地域の面的再生への積極的な参画			
(1)成長分野の育成や産業集積による高付加価値化などの地域の面的再生に向けた取組への積極的な参画	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活性化に取組む諸団体への参画を行う。 地方公共団体や地域活性化に関するプロジェクト等の地域情報の収集と分析。 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業を活用し、外部専門家と連携を行い、専門的な経営課題に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 商工会議所、地公体を通じ地域の活性化に取組む諸団体への参画。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種地域行事に参加 平成26年 6月「食クラスター「フード塾」オープニングセミナー」参加 平成26年 11月「食料流通備蓄セミナーin旭川」参加
3. 地域や利用者に対する利便性の向上や積極的な情報発信			
(1)顧客・組合員の意見・ニーズを経営改善につなげる態勢の強化(地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立)	<ul style="list-style-type: none"> 接遇・マナーの質の向上を図る。 利用者満足度アンケートを実施し、営業施策に反映する。 	<ul style="list-style-type: none"> 業界団体が主催する研修の受講を進める。 組合内研修等により、接遇・マナーの質の向上を図る。 利用者満足度アンケートの実施。 利用者満足度アンケート結果に基づく営業施策の実施。(ATMの機能強化・接遇の改善・情報提供の充実・サービスの充実・店舗内外の美化) 	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度北海道信用組合協会主催の研修に参加(14講座40名)、接遇については、外部講師による接遇マナー研修(8名参加)を実施しました。 平成25年度に実施した「顧客満足度アンケート調査」に基づき、「ATMの機能追加」、「接遇の改善」、「情報提供の充実」、「サービスの充実」、「店舗内外の美化」を改善項目に挙げ、取り組みいたしました。
(2)地域貢献等に関する情報開示	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の目線に立った分かりやすい情報開示に努めるとともに、開示内容の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクロージャー誌の充実を図る。 ホームページの充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「地域密着型金融推進計画」(平成25年度)の推進結果についてホームページにて公表いたしました。 事業決算のディスクロ誌を店頭及びホームページにて公表いたしました。 半期ディスクロ誌を店頭及びホームページにて公表し、併せて地域貢献等についてもディスクロ誌及びホームページにて公表いたしました。

Ⅱ－2. 経営改善支援等に関する取組み実績(平成26年4月～27年3月の状況)

項 目	目 標	実 績	備 考
経営改善支援への取組み	20先	20先	
経営改善支援取組先のうち 債務者区分のランクアップ先数	5先	1先	
経営力強化保証、再生支援資金等の活用	20先	17先	
中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業の 活用	—	16先	

Ⅱ－3. 経営改善支援実績表

期初債務者数 A					経営改善支援 取組率	ランク アップ率	再生計画 策定 率
うち経営改善支援取組み先 α							
αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数	β	αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数	γ	αのうち再生計画を策定した先数			
1,440	20	1	17	20	α / A 1.4%	β / α 5%	δ / α 100%

(注) 1. 期初債務者数は平成26年4月当初の債務者数です。

- 債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含んでおりません。
- 「α (アルファ)のうち期末に債務者区分がランクアップした先数β (ベータ)」は、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先です。なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαには含みますがβには含んでおりません。
- 「αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数γ (ガンマ)」は、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先です。
- 「αのうち再生計画を策定した先数δ (デルタ)」は、αのうち中小企業再生支援協議会の再生計画策定先、RCCの支援決定先、当信組独自の再生計画策定先の合計先数です。
- 期中に新たに取引を開始した取引先は、本表に含みません。